

第 4 0 8 回 役 員 会 議 事 録 (要 録) 令和 7 . 5 . 2 7 (火) 1 4 : 0 0 ～ 1 4 : 5 2 場 所 : 法人本部棟 5 F 1 会議室	
出 席 者	越智、鈴木、金子、宮崎、津賀、田中、柳澤、信末、新延 以上役員 9 名
欠 席 者	
オブザーバー	荏屋田、森迫、熊本、坂田、小池、川島、田原、大段、内藤、西村、犬丸、松見、 茶谷、船津、岡村、竹内、伊藤、中神
(前回議事録(要録)の確認) (議事) 1. University of Idaho Hiroshima Campus (アイダホ大学広島キャンパス) の設置に係るアイダホ大学との Agreement の締結について ----- 別紙 1 (学長提案、金子理事(グローバル化担当)説明) University of Idaho Hiroshima Campus (アイダホ大学広島キャンパス) の設置に係るアイダホ大学との Agreement の締結について提案・説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。 2. 特命教授等の称号授与について ----- 別紙 2 (学長提案、田中理事(霞地区・教員人事・広報担当)説明) 広島大学特命教授等称号授与規則に基づく特命教授等の称号授与について提案・説明があり、審議の結果、部局等の長から推薦があった 6 名に、特命教授等の称号を授与することとした。 (報告) 1. 令和 7 事業年度国立大学法人広島大学監事監査計画について ----- 資料 1 (学長報告) 令和 7 事業年度国立大学法人広島大学監事監査計画に関して、監事から監査計画の内容について報告があり、併せて、国立大学法人法等の規定に基づき監事の調査の対象となる書類一覧については、各理事室等で周知するよう依頼があった。 2. 令和 7 年度(2025)教員人事の選考について ----- 資料 2 (田中理事(霞地区・教員人事・広報担当)(人事委員会委員長)報告) 令和 7 年度(2025)教員人事の選考に関して、学術院会議での審議結果を踏まえ人事委員会で審議した結果、候補者 4 名について、妥当であると認められるため、人事手続を進めることとした旨の報告があった。 3. 令和 7 年度(2025)教員人事申請及び選考について ----- 資料 3 (田中理事(霞地区・教員人事・広報担当)(人事委員会委員長)報告) 令和 7 年度(2025)教員人事申請及び選考に関して、学術院会議での審議結果を踏まえ人事委員会で審議した結果、候補者 2 名について、妥当であると認められるため、人事手続を進めることとした旨の報告があった。 4. 学術院計画ポイントで雇用する特任教員の選考について ----- 資料 4 (田中理事(霞地区・教員人事・広報担当)(人事委員会委員長)報告)	

学術院計画ポイントで雇用する特任教員に関して、学術院会議での審議結果を踏まえ人事委員会で審議した結果、候補者 1 名について、妥当であると認められるため、人事手続を進めることとした旨の報告があった。

5. 学術院計画ポイントで雇用する主幹学術研究員の選考について ————— 資料 5
(田中理事(霞地区・教員人事・広報担当)(人事委員会委員長)報告)

学術院計画ポイントで雇用する主幹学術研究員に関して、学術院会議での審議結果を踏まえ人事委員会で審議した結果、候補者 1 名について、妥当であると認められるため、人事手続を進めることとした旨の報告があった。

6. 大学・高専機能強化支援事業により大学院先進理工系科学研究科に配置する助教の選考について— 資料 6
(田中理事(霞地区・教員人事・広報担当)(人事委員会委員長)報告)

大学・高専機能強化支援事業により大学院先進理工系科学研究科に配置する助教に関して、学術院会議での審議結果を踏まえ人事委員会で審議した結果、候補者 1 名について、妥当であると認められるため、人事手続を進めることとした旨の報告があった。

7. 大学の国際化によるソーシャルインパクト創出支援事業により雇用する准教授の選考について— 資料 7
(田中理事(霞地区・教員人事・広報担当)(人事委員会委員長)報告)

大学の国際化によるソーシャルインパクト創出支援事業により雇用する准教授に関して、学術院会議での審議結果を踏まえ人事委員会で審議した結果、候補者 1 名について、妥当であると認められるため、人事手続を進めることとした旨の報告があった。

8. 令和 7 年度(2025)及び令和 8 年度(2026)教員人事申請について ————— 資料 8
(田中理事(霞地区・教員人事・広報担当)(人事委員会委員長)報告)

令和 7 年度(2025)及び令和 8 年度(2026)教員人事申請に関して、学術院会議での審議結果を踏まえ人事委員会で審議した結果、3 件の人事申請を承認することとした旨の報告があった。

9. 大学の国際化によるソーシャルインパクト創出支援事業により雇用する特任准教授の人事申請について ————— 資料 9
(田中理事(霞地区・教員人事・広報担当)(人事委員会委員長)報告)

大学の国際化によるソーシャルインパクト創出支援事業により雇用する特任准教授に関して、学術院会議での審議結果を踏まえ人事委員会で審議した結果、1 件の人事申請を承認することとした旨の報告があった。

10. 任期を定めて雇用する教員の再任等審査について ————— 資料 10
(田中理事(霞地区・教員人事・広報担当)(人事委員会委員長)報告)

任期を定めて雇用する教員の再任等審査に関して、学術院会議での審議結果を踏まえ人事委員会で審議した結果、教員 2 名について、再任の可否等の審査結果が妥当であると認められるため、人事手続を進めることとした旨の報告があった。

11. 育児休業等代替教員の選考について ————— 資料 11
(田中理事(霞地区・教員人事・広報担当)(人事委員会委員長)報告)

育児休業等代替教員の選考に関して、学術院会議での審議結果を踏まえ人事委員会で審議した結果、候補者 1 名について、妥当であると認められるため、人事手続を進めることとした旨の報告があった。

12. 特任教員等（フルタイム）の選考について ----- 資料 12
（田中理事（霞地区・教員人事・広報担当）（人事委員会委員長）報告）

特任教員等（フルタイム）の選考に関して、学術院会議での審議結果を踏まえ人事委員会で審議した結果、候補者 7 名について、妥当であると認められるため、人事手続を進めることとした旨の報告があった。

13. 特任教員（パートタイム）の選考について ----- 資料 13
（田中理事（霞地区・教員人事・広報担当）（人事委員会委員長）報告）

特任教員（パートタイム）の選考に関して、人事委員会で確認した結果、1 名について、妥当であると認められるため、人事手続を進めることとした旨の報告があった。

14. 特任学術研究員等の選考について ----- 資料 14
（田中理事（霞地区・教員人事・広報担当）（人事委員会委員長）報告）

特任学術研究員等の選考に関して、人事委員会で確認した結果、6 名について、妥当であると認められるため、人事手続を進めることとした旨の報告があった。

15. 客員教員の選考について ----- 資料 15
（田中理事（霞地区・教員人事・広報担当）（人事委員会委員長）報告）

客員教員の選考に関して、人事委員会で確認した結果、51 名について、妥当であると認められるため、人事手続を進めることとした旨の報告があった。

16. 教員人件費ポイント使用状況及び教員の現員・促進区分達成状況について ----- 資料 16
（田中理事（霞地区・教員人事・広報担当）（人事委員会委員長）報告）

教員人件費ポイント使用状況及び教員の現員・促進区分達成状況に関して、令和 7 年 5 月 1 日時点の数値について報告があり、教員人件費使用可能ポイント及び教員の現員・促進区分（若手教員、女性教員及び外国人教員等）に係る状況について、確認を行った。

以上（資料添付略）